



学校 HP は、こちらからもご覧頂くことができます。

「理念（ビジョン）を共有する」

校 長 佐藤 義明

去る10月26日（木）、「第8回鹿児島県小中一貫教育及びコミュニティ・スクールフォーラム in 鹿児島市」に、パネラーとして登壇し、平成中学校区（城上小学校）の取組を実践発表する機会に恵まれました。会場のサンエールかごしまには、各市町教育長及び校長を始めとした学校関係者や地域・コミュニティ協議会等、300人を越える皆様が集い、地域とともにある学校づくりや小中一貫教育の推進について語り合いました。当日は、平成中学校区学校運営協議会 田島俊一会長にも同席いただきました。

本フォーラムの中で特に印象に残ったのは、熊谷愼之輔教授（岡山大学）が講演の中で述べた「コミュニティ・スクールをより効果的に機能させ、学校と地域が対等に協働するパートナーシップを発揮するには、『理念（ビジョン）の共有』が欠かせない」という言葉でした。この場合の「理念」とは、「目指す子供像」や「身につけさせたい具体的な力」を指します。

現在学校では、令和6年度に向けて、教育計画の検討・編成作業を行っている真っ最中ですが、大元となる教育目標及び重点取組事項（「3つの種」と表現してきました）は、これまでも繰り返し保護者・地域の皆様にもお伝えしてきました今年度と同様のものを踏襲します。

【学校教育目標】 「共に学び 共に輝く 城上の子」

【重点取組事項】

1 あいさつ …… 人間関係を円滑にするために不可欠なもの

- 誰にでも、自分から進んで、「語先後礼」のあいさつ
- 立ち止まって、相手の目を見て、笑顔であいさつ、最後に会釈

2 ボランティア …… 少しだけ自分の時間をみんなのために使う気持ち

- 気付き、考え、実行する姿勢（清掃・ボランティアタイム・緑化活動・環境整備・後始末）
- 地域行事や伝統・文化継承活動への積極的参加

3 学び合い …… 人とつながりお互いを高め合える関係性

- 「分からない」と言える、「分からない」を受け止めることができる関係性
- 他者と主体的に関わり、協働的に課題や問題を解決する姿勢

未来社会を生きる子供たちに求められる力や平素の子供たちの様子から見受けられる課題に基づき作成しました。今回のフォーラムでは、城上・吉川地区の皆様が、「地域の子供は我が子供」と捉え、向き合ってくださっていることに賞賛と高評価をいただきました。

今後改めて、目指す子供像を共有し、子供の課題は、家庭・地域・学校の課題であり、大人の課題であることを意識して向き合っていければと思います。



おいしいお米ができました!

延期になっていた脱穀を11月4日(土)に行いました。休日のため、希望者のみの参加となりました。当日は、足踏み脱穀機や唐箕を使って脱穀を行うなど貴重な体験となりました。田植えから稲刈り、脱穀と多くの方に御協力いただき心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



足踏み脱穀機



唐箕(風で籾殻や藁を吹きとばす)



弁護士出前授業

11月15日(水)の5校時、弁護士出前授業を3～6年生に行いました。原田法律事務所の原田喜之さんにお越しいただき、弁護士の仕事やいじめについて原田さんの体験を交えながら分かりやすくお話ししていただきました。どの児童も真剣でした。



【話に聞き入る児童の様子】

SOSの出し方教室

11月2日(木)、スクールカウンセラーの松田祐道先生をお招きして、3・4年生が「SOSの出し方教室」を行いました。自分がつらい時や不安な時に気持ちを軽くするための方法や友達がつらい時の声のかけ方などを学習しました。友達のストレス解消法はそれぞれ参考になるところがあったようで、どの児童も最後まで真剣に話を聞く姿が印象的でした。



授業の様子



意見交換する児童

学習発表会

11月11日(土)に学習発表会を行いました。園児や児童は限られた期間で精一杯練習に取り組、この日を迎えました。園児による「変身ベルトショー」、1～4年生のボディーパーカッションや合唱、5・6年生の合唱や薩摩川内はんや、全校での手話唱などいかがだったでしょうか。保護者の皆様や地域の方々の温かい拍手が子供たちの力を引き出してくださったのではないかと思います。本当にありがとうございました。



1～4年生の発表



5・6年生の発表

12月の主な行事



- 1日(金) いじめのない学校づくりの日
- 4日(月) 命を大切に作る心を育む日
人権教室(全学年)
集団下校 安全点検
- 5日(火) 校内持久走大会 学校保健委員会
全体PTA・学級PTA
- 12日(火) へいへい交流(特別支援学級)
- 18日(月) 献血の授業(6年)
- 22日(金) 終業式・大掃除
- 23日(土) 冬季休業(～1月8日)



【10月のいじめアンケートの結果について】

今月も「いじめを受けている」「身の回りでいじめを受けている人がいる」と回答した児童はいませんでした。11月は校内人権旬間の様々な場でいじめや差別、人権の大切さについて触れてきました。いじめのないことは喜ばしいことですが、これに安心せず、悩みや不安を相談しやすい環境作りに努めてまいります。

12月の生活・保健目標

【生活】思いやりの心を育てよう

【保健】寒さに負けず元気にすごそう